平成２９年度　学校だより

舞鶴小だより

平成２９年１０月１８日号　文責　学校長　相河竜治

平成 29 年度 全国学力学習状況調査特集号

国語はA 問題（「知識」に関する問題）よりもB 問題（「活用」に関する問題）が
算数はB 問題（「活用」に関する問題）よりもA 問題（「知識」に関する問題）が
良い成績でした！　※全国平均・県平均と比較した場合

全国学力学習状況調査って どんな調査ですか？

全国の小学校６年生と中学校３年生を対象に行うテストのことです。教科は算数（数学）と国語で行い、３年に一度程度、理科を行います。

目的は、全国的な学力や学習状況を把握･分析して、教育施策の改善を図ることと、学校で子どもたちへの教育指導の改善・充実を図ったり、子どもたち一人一人の学習状況の改善などに役立てたりするためです。

主として「知識」に関する問題って どんな問題ですか？（Ａ問題）

単なる知識･技能等の暗記ではありません。次の２つの内容です。

- 身につけておかないと（小学校の場合）中学校に行って学習するときに困るような内容
- 実生活において必要な知識や技能で、常に使えるようになっていることが望ましいもの

つまり、きちんと習得しておかないと中学校や実生活で困るような知識･技能です。

主として「活用」に関する問題って どんな問題ですか？（Ｂ問題）

いろいろな課題を解決する力のことで、次の２つの力です。

- 知識や技能などを実生活のいろいろな場面で活用する力
- いろいろな課題を解決するため、自分なりに構想を立てて実際に実行し、その結果を自分で評価して解決方法を改善する力

つまり、知識や技能を実生活で役立てる力です。

生活習慣や学校環境等に関する 質問紙調査とはどんな内容ですか？

児童生徒に対する調査と学校に対する調査の２種類があります。

- 児童生徒に対する調査とは⇒学習意欲や学習方法、学習環境、生活に関する調査
  例：国語の勉強は好きですか？
  　　一日にテレビを観る時間は？
- 学校に対する調査とは⇒指導方法に関する取組や人的･物的な教育条件整備の状況
  例：休み時間や放課後の補習の様子
  　　コンピュータなどの活用状況

結果とその分析について

舞鶴小の子ども達の学力をより向上させるために、課題を中心に記載しています。ご了承ください。

＜国語Ａ問題＞

課題の内容が分かるよう問題を掲載しました

① 漢字は読むことは得意だが、書くことはやや苦手の傾向がある
② 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書くことは得意
③ 古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読むことが苦手の傾向がある
④ ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることがやや苦手の傾向がある

＜上記③の問題と答＞谷川さんは、歌舞伎の作品「外郎売」を音読して、気がついたことをノートにまとめています。次は、音読した【「外郎売」の一部】と【ノートの一部】です。谷川さんが気がついたことの説明として最も適切なものを、あとの１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【「外郎売」の一部】

がらぴいがらぴい風車
おきゃがれこぼし
おきゃがれこぼおし
ゆんべもこぼして
またこぼした
たあぷぽぽ　たあぷぽぽ
ちりから　ちりから
つったっぽ

【ノートの一部】

○音読して、気がついたこと
・くりかえしが多い。
・似ている言葉がある。
・早口言葉のようでおもしろい。
・拍子を取りたくなる。

１　使われている言葉やリズム、声に出した時の感じをまとめている。
２　言いかえが多いので、意味がとらえにくくなっていることをまとめている。
３　昔の人々の声の出し方のちがいに注目して、昔と今のちがいをまとめている。
４　くりかえし出てくる言葉を、どのように読むと分かりやすいかをまとめている。
答　１

＜上記④の問題と答＞古川さんは、ことわざの意味を辞書で調べて、ことわざカードを作っています。次の□に入ることわざの使い方の例として最も適切なものを、あとの１から３までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

＜もちはもち屋＞
（意味）何事も、それぞれの専門家や得意な人にまかせるのが一番だ。
（使い方の例）□

１　もちはもち屋と言うように、人の好みはいろいろで、趣味はいろいろあった方がよい。
２　もちはもち屋と言うように、卓球の審判なら卓球クラブの友達に頼む方が良い。
３　もちはもち屋と言うように、好きな作家の本を見つけたら時間を気にせず読んだ方がよい。
答　２

改善方策

○ 実際に使用する文章の中で漢字を書く練習を重点的に行う。
○ ことわざや四文字熟語など、文例の中で意味を理解し、使用できるようにする。
○ いろいろな種類の文章を読み、その優れているところを味わう経験を増やす。
○ 自主学習ノートや市販のドリル等に取り組み、基礎学力の向上を図る。

＜国語Ｂ問題＞

① 自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることは得意
② 話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉えることは得意
③ 目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることは得意
④ 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことは得意
⑤ 動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話すことはやや苦手
⑥ 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことはやや苦手（全国平均より上だが正答率が４０％に満たない）

課題の内容が分かるよう
代表的な問題を掲載しました

＜上記⑤の問題と答＞【グループの話し合いの様子】

北川　石田さんのスピーチ、良かったね。

上野　表情がとても明るくて、折り紙のことを伝えたいっていう気持ちが伝わってきたよ。

北川　実物の「つる」を見せているのも、分かりやすかったね。それと、今回スピーチメモを使ってみてどうだったかな。

上野　スピーチメモを使って話のまとまりと順序を意識して話すことはできたかな。

石田　うん、できていたと思うよ。それに、必要な時にだけメモを見ればよかったから、相手の反応を見て話すこともできたと思う。

北川　確かにできていたね。他に気をつけたいことはあるかな。

石田　全体的に早口になっているように思うので、そこを直したいな。

北川　そうだったかな。動画を見てみよう。

～（動画を見る）～

上野　そうだね。日本語を勉強している外国の人にとっては早口かもしれないね。

北川　それから、石田さんが一番伝えたいことが伝わるかどうかが大事だよね。

（以下省略）

一　石田さんのグループは、【グループの話し合いの様子】の［　　］において、どのような目的で動画を見ていますか。その説明として最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

１ 調べて分かったことをいくつ伝えているか、整理するため。
２ よい点を多く見つけて、多の人の参考にしてもらうため。
３ 相手に応じた話し方の改善点について、確かめるため。
４ 姿勢や表情に気をつけて話していたか、ふり返るため。

答　３

改善方策

○ 説明文などでその文や文章の書かれた目的を明確にしながら読む。
○ 目的や意図に応じて、取材の方法等を工夫して書く事柄を収集し、その中から事実と自分の感想や意見などを区別しながら内容を整理して書く。

＜算数Ａ問題＞

① 未知の数量を表す□を用いて、問題場面を除法の式に表すことは得意
② 資料を二次元表に分類整理することは得意
③ 資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることは得意
④ １より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことは得意
⑤ 具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解するところでミスがやや多い
⑥ 二つの数の最小公倍数を求めることはやや苦手

＜上記⑤の問題と答＞

課題の内容が分かるよう
代表的な問題を掲載しました

１ｍあたりの値段が６０円のリボンを何ｍか買います。
その時の代金の求め方を考えます。
（１）リボンを２ｍ買った時の代金はいくらですか。また、リボンを３ｍ買った時の代金はいくらですか。それぞれ答を書きましょう。

答　２ｍ買った時　１２０円　　３ｍ買った時　１８０円
※ ほとんどの子どもができていたのですが、ミスをした子が何人かいました

＜上記⑥の問題と答＞

８と１２の最小公倍数を書きましょう。

答　２４
※ ほとんどの子どもができていたのですが、ミスをした子が何人かいました

改善方策

○ 基礎基本を問う問題は大変よくできているので、ケアレスミスをなくすようにする。
○ 自主学習ノートや市販のドリル等に取り組み、基礎学力の向上を図る。

＜算数Ｂ問題＞

① 割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことは得意
② 示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することは得意
③ 直線の数とその間の数の関係に直目して、示された方法を問題場面に適応することは苦手
④ 示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述することは苦手
⑤ 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述することは苦手

課題の内容が分かるよう
代表的な問題を掲載しました

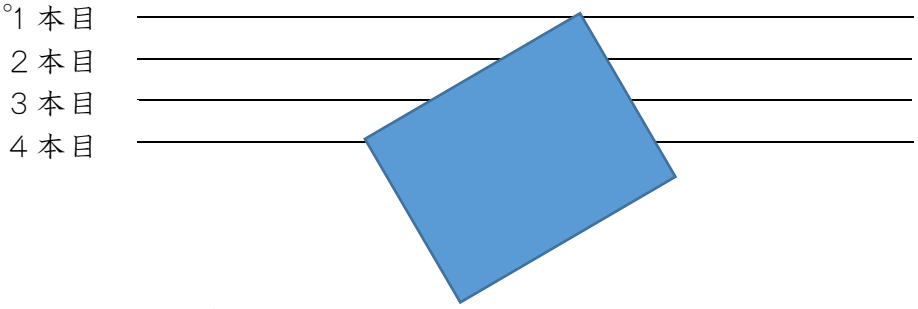
＜前ページ算数Ｂ問題③の問題と答＞

小さい封筒に入れるためには、長方形の形をした手紙を３つに折る必要があります。ゆりえさんは、手紙をなるべくきれいに３つに折るために、先生から３等分する点を見つける方法を教えてもらいました。

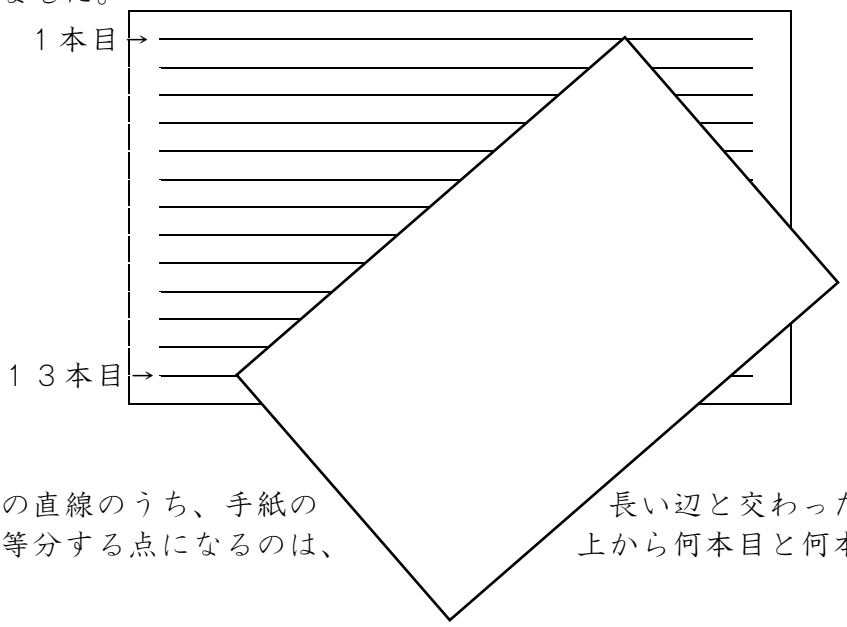
３等分する点を見つける方法

① 同じはばに並んだ４本の平行な直線の、１本目と直線と４本目の直線に手紙の長い辺の両端をあわせる。

② ２本目、３本目の直線と手紙の長い辺が交わった点が、手紙の長い辺を３等分する点になる。



手紙の用紙には、同じはばに並んだ１３本の平行な直線がひかれています。ゆりえさんは、手紙を３つに折るために、もう１枚の手紙の用紙を使おうと考えました。そして、下の図のように、１本目と１３本目の直線に手紙の両はしをあわせて、３等分する点を見つけました。



（２）１３本の直線のうち、手紙の長い辺と交わった点が、その辺を３等分する点になるのは、上から何本目と何本目の直線ですか。

答　上から５本目と９本目

改善方策

○ 日常で起こりうる様々な問題を提示し、その解決のため必要な情報を収集して、その中から解決に役立つものを選択する学習や示された方法を別の場面で適用して問題を解決するといった学習活動をする。

○ 集めた資料を整理、分類して表やグラフに分かりやすく表したり、特徴を調べたりする活動やグラフ同士を関連付けて考えるといった、表やグラフを活用する学習を充実する。

○ 問題の場面を図に表す、図に表したことを式にする、説明したことを図や式に表すといった、図や式、数直線等と結びつけて数量の関係の説明を深める指導をする。

今後の改善方策について

国語と算数の具体的な指導の改善方策は、ここまで記したとおりです。国語と算数、さらには全教科や学校生活全般を通して、次のような改善方策を策定し、実施してまいります。

基礎基本のより一層の充実を図ります

・授業中に計算練習等の繰り返し学習や習ってきたことの復習を多く行い、基礎基本のより一層の充実を図ります。
・宿題はもちろん、自主学習ノートや市販のドリル等の自主学習に積極的に取り組めるよう指導し、基礎基本の確実な定着を図ります。そのために、今年度「家庭学習の手引き」を各家庭に配布し、家庭学習の充実を図ります。
・家庭学習の成果を「あいかわギネス特別認定状」等で積極的に評価し、やる気を高めます。

活用する力をより一層高めます

・今後も、子どもたちの思考力や判断力、表現力を育てる「主体的･対話的で深い学び」に積極的に取り組み、特に、子どもが授業の主役となる「学び合い」の学習を普段の授業に取り入れ、活用する力を育成します。
・家庭学習でも、自主学習ノートなどの取り組みを通して、「なぜだろう？」「どうしてだろう？」ということを学習し解決するように子ども達に働きかけます。

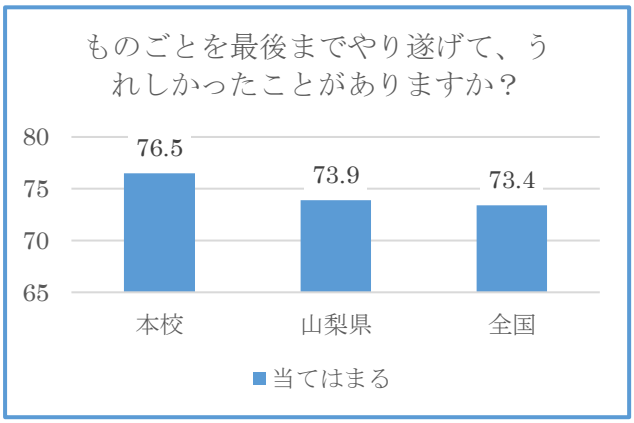
基本的生活習慣の育成を図ります

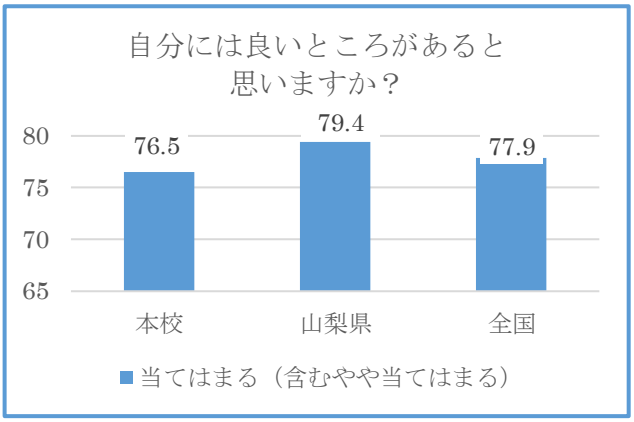
・今後も「地域を巻き込んだあいさつ運動」や無言清掃の推進などを通して、学習の基となる基本的生活習慣を身につけます。
・整理整頓をとおして、基本的生活習慣の育成を図り、物事を整理しながら理解する思考を大切にします。

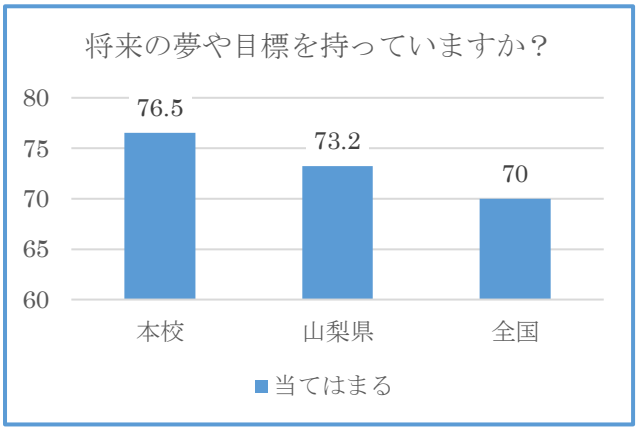
学級づくりをより一層進めます

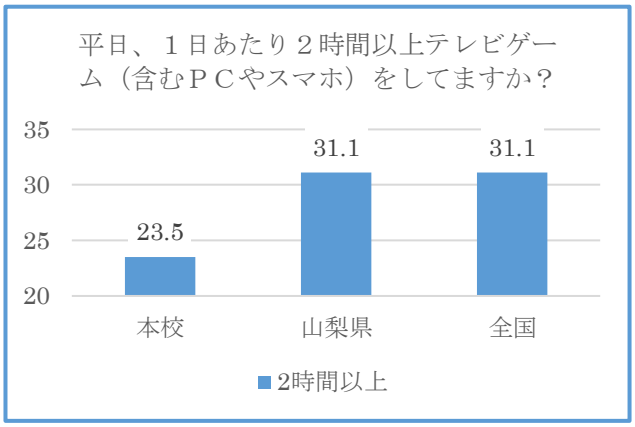
・より良い授業をするためには学級づくりが基本です。子どもたちが学級のきまりを守り、お互いに思いやり助け合う学級づくりを進めます。
・学校行事や学年･学級の行事や取り組みをとおして、個人としても学級学年としても成長できるよう指導します。

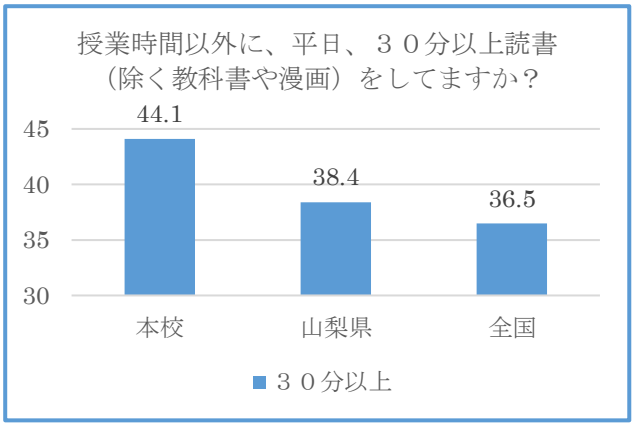
児童質問紙の結果とその分析について（生活編）

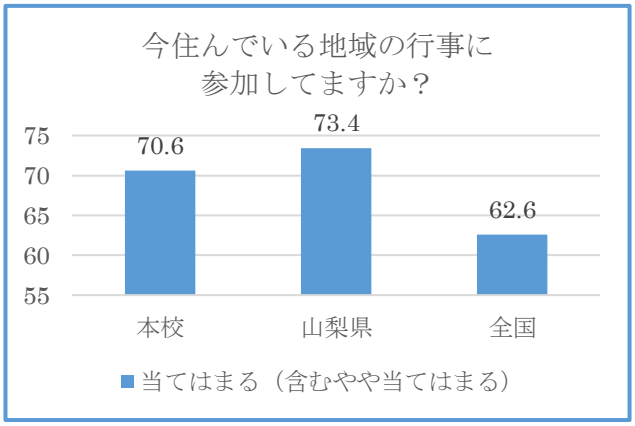












○グラフには表示しませんでしたが「朝食を毎日食べている」や「毎日同じくらいの時刻に寝ている」など、家庭での基本的生活習慣がしっかりしている児童が多くいます。

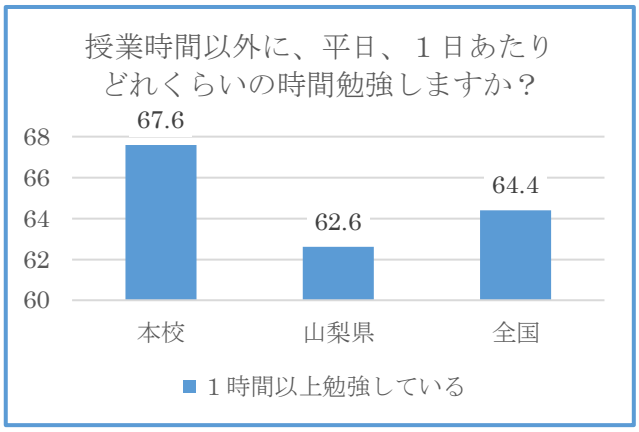
○「ものごとを最後までやり遂げてうれしかった」「自分には良いところがある」「将来の夢や目標を持っている」など、同率となっています。今後も頑張ったことを認め、自己肯定感を高められるよう指導していきます。

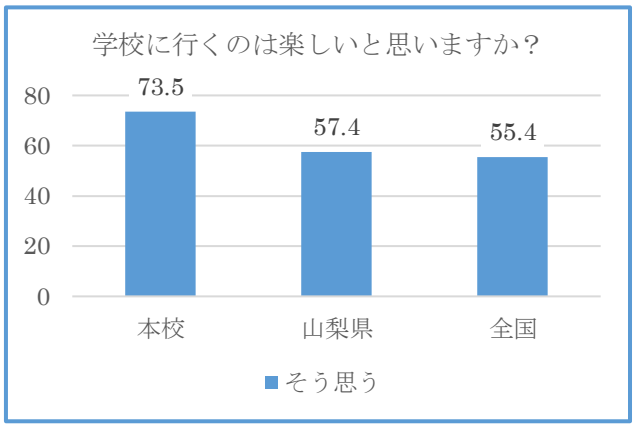
○ テレビゲームや携帯やスマホでの会話やメール、インターネット閲覧など、極端に長くする児童は少ないですが、さらに少なくなるよう家庭と協力します。

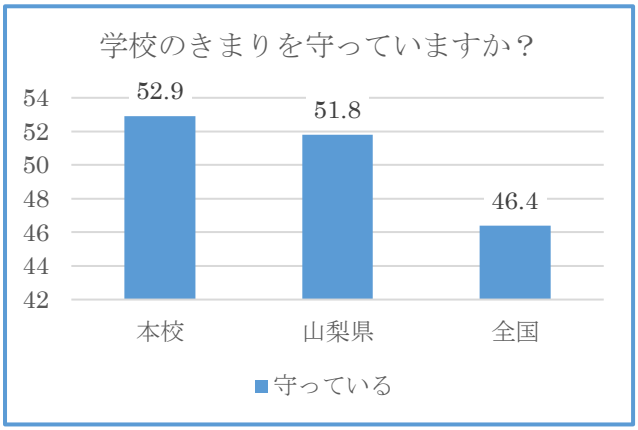
○ 本校児童は図書室にもよく行き、普段から本をよく読みます。

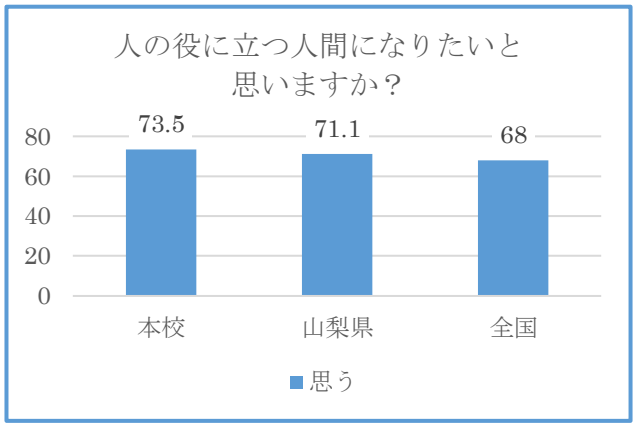
○ 地域の行事に参加する児童の割合が、全国平均より高いですが県平均より若干低いので、今後、より一層家庭や地域と連携しながら積極的に参加するように働きかけます。

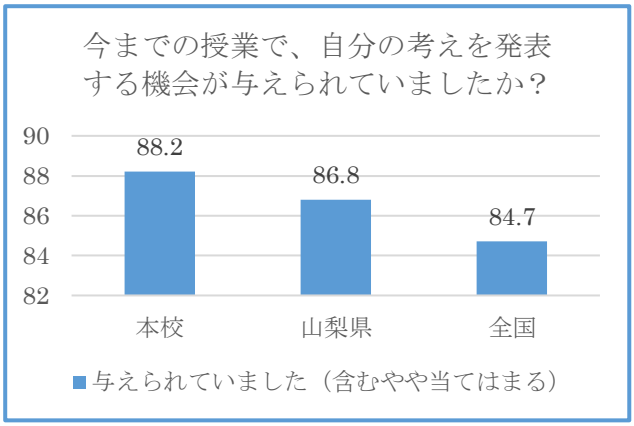
児童質問紙の結果とその分析について（学習・学校編）

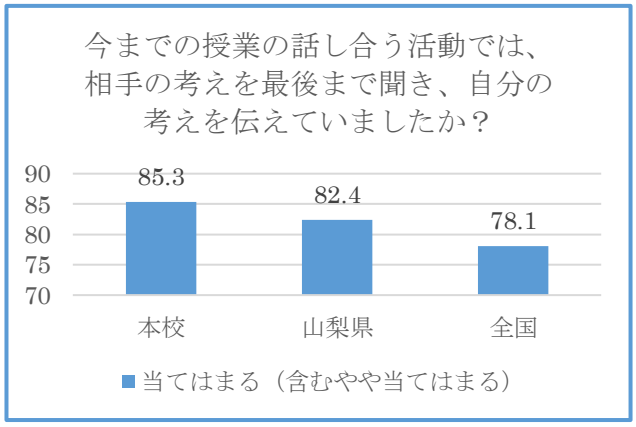












○ 平日や休みの日に１時間以上勉強している児童の割合は、全国や県の平均に比べて高いですが、６年生ではそれ以上の学習時間を指導していきます。

○ 学校のきまりをよく守るなど望ましい学校生活を送っていたり、「人の役に立つ人間になりたい」という心を育めていたりするので、これからも心の育成をより一層指導して参ります。

○ 授業中に自分の考えを発表し、友達としっかりコミュニケーションしながら学習を進めるのが「学び合いの学習」でありアクティブ･ラーニングですが、本校ではそれができていると思うので、今後、さらに進めていきます。

本校では保護者や地域にも恵まれ、望ましい教育活動ができていますが、慢心することなくより良い教育をめざして教職員一同努力して参ります。